

水道事業経営指標

1 『経営の健全性・効率性』

1) 経常収支比率(%)

経常収支比率とは、水道料収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを示す指標です。100%以上の場合は単年度の収支が黒字であることを示しています。

$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$$

2) 累積欠損金比率(%)

累積欠損金比率とは、営業収益に対する累積欠損金の状況を表す指標のことです。

累積欠損金とは、営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補てんすることができず、複数年度に渡って累積した欠損金を指します。

$$\text{累積欠損金比率} = \frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}} \times 100$$

3) 流動比率(%)

流動比率とは、短期的（1年間）の債務に対する支払能力を表す指標です。100%以上の場合は1年以内に支払うべき債務に対して支払うことが可能であると判断されます。

$$\text{流動比率} = \frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$$

4) 企業債残高対給水収益比率(%)

企業債残高対給水収益比率とは、料金収入に対する企業債残高の割合を示す指標です。

$$\text{企業債残高対給水収益比率} = \frac{\text{企業債現在高合計}}{\text{給水収益}} \times 100$$

5) 料金回収率(%)

料金回収率とは、給水原価に対する供給単価の割合を示す指標で、100%を下回っている場合は、給水にかかる費用が給水収益以外の収入で賄われていることを意味します。

なお、給水原価は有収水量 1 m³あたりの費用であり、供給単価は有収水量 1 m³あたりの収益です。

$$\text{料金回収率} = \frac{\text{供給単価}}{\text{給水原価}} \times 100$$

6)給水原価(円)

給水原価とは、水道水を 1 m³作るのに必要な経費を指します。

$$\text{給水原価} = \frac{\text{経常費用}-(\text{受託工事費}+\text{材料及び不用品売却原価}+\text{附帯事業費})-\text{長期前受金戻入額}}{\text{年間総有収水量}}$$

7)施設利用率(%)

施設利用率とは、1 日配水能力に対する 1 日平均配水量の割合を示すもので、施設の利用状況や適正規模を判断する指標です。

$$\text{施設利用率} = \frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$$

8)有収率(%)

有収率とは、給水する水量と料金として収入のあった水量の割合を示す指標です。

$$\text{有収率} = \frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$$

2 『老朽化の状況』

1)有形固定資産減価償却率(%)

有形固定資産減価償却率とは、有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標です。

$$\text{有形固定資産減価償却率} = \frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価}} \times 100$$

2)管路経年化率(%)

管路経年化率とは、法定耐用年数(40 年)を超えた管路延長の割合を表した指標です。

$$\text{管路経年化率} = \frac{\text{法定耐用年数を経過した管路延長}}{\text{管路延長}} \times 100$$

3)管路更新率(%)

管路更新率とは、当該年度に更新した管路延長の割合を表した指標です。

$$\text{管路更新率} = \frac{\text{当該年度に更新した管路延長}}{\text{管路延長}} \times 100$$